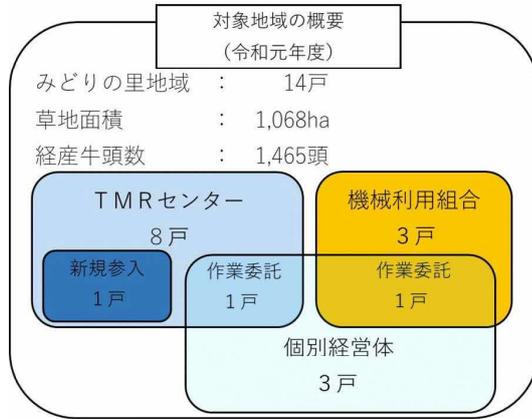


地域資源を活用した総合的な酪農生産力の強化

(別海町みどりの里地域)

1 課題の背景



みどりの里地域では、原料草の栄養価の向上および乾乳期から分娩前後までの飼養管理と繁殖管理の改善が課題となっている。普及センターでは、「原料草品質の向上」および「乳牛飼養管理の改善」によって、酪農生産力を強化する地域の取り組みを支援している。



2 活動の経過

原料草品質の向上



更新時の除草剤活用に取り組んだ草地と除草剤未使用の草地で、牧草の栄養価を比較調査した。

TMRセンター構成員で協議しました。



乳牛飼養管理の改善



乾乳環境の適正化に向けた課題の整理を行い、分娩環境の整備に取り組んだ。



乳検DLの活用方法について提案、協議しました。

本年度は4戸で定期巡回を行い、繁殖カレンダーと乳検DLを活用した繁殖管理について支援した。

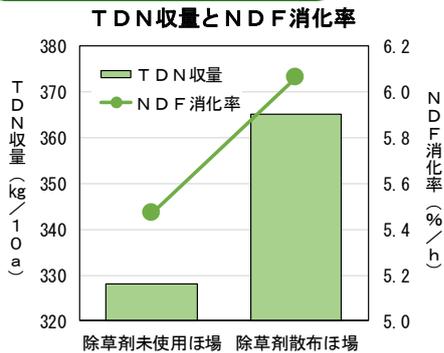


乾乳～分娩前後のBCS・腹囲形状を確認し、飼料給与メニューを検討。



3 活動の成果 *****

原料草品質の向上



農家の声

「スプレーヤの導入効果が確認できて良かった」
 「コントラクタにお金を払っている成果が確認できた」
 「チモシー割合が増えて収量も増えたと実感できた」

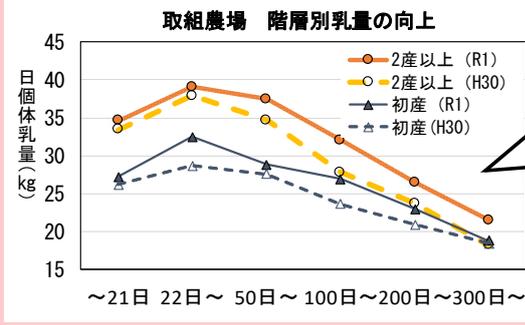
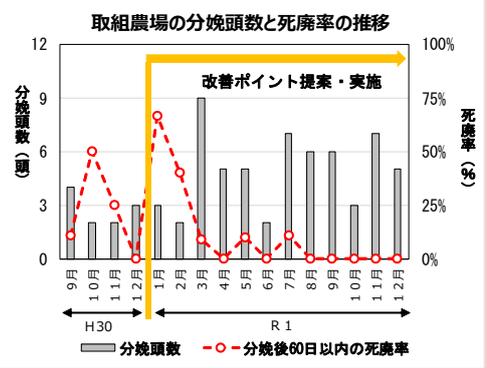
牧草の栄養価（TDN収量）と消化性（NDF消化率）について、除草剤利用の優位性が確認できた。当地域では9割以上の草地で除草剤の適正利用による難防除雑草対策が実施されている。



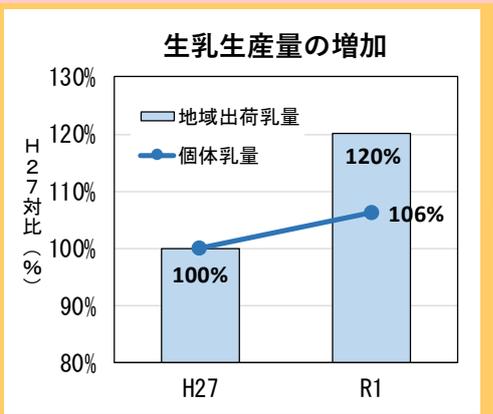
乳牛飼養管理の改善



乾乳牛の群管理改善に取り組んだ農場では、エサを十分に食べられる環境が整い、分娩後の事故が大きく減少した。



飼料給与の改善に取り組んだ農場では、ピーク乳量と泌乳持続性が改善された。



繁殖カレンダーの活用が定着した農場では、発情発見率の向上（改善前5周期23.3%⇒後36.1%）や、初回授精日数の短縮（改善前84日⇒後71日）などの成果が確認された。

地域の生乳生産量は順調に増加している。



みどりの里地域の取り組み成果を、各種研修会で紹介しました。

4 今後の活動 *****

更なる生産性の向上に向けて、生産性が低下している農家の底上げなど、乳牛飼養管理の改善について支援を継続していく。